

■上田敏 外国文学者。西欧文芸の紹介につとめ、名訳詩集「海潮音」で詩歌壇に決定的な影響を与えたが、早世した。

うえだびん

佐賀の乱・1874= 東京築地で、旧幕臣上田綱二の上田綱二に生まれる。

祖父乙骨耐軒は昌平黌教授をつとめた儒学者で幕府初の遣欧使節の一員、父も幕府最後の遣欧使節の一員、叔母も岩倉使節団に留学生として選ばれ、英学者で沼津兵学校教授の乙骨太郎乙は伯父、音楽評論家の乙骨三郎は従兄弟など、際立った欧米環境に育つ。

明治14年政変1881= 7歳：

岩倉具視没・1883= 9歳：

帝国大学始・1886=12歳：私立東京英語学校に入学して、英語を学び、

静岡尋常中学を経て、第一高等学校に入学、

在学中、島崎藤村らの{文学界}同人となり、

大本教・・・1892=18歳：

郡司千島探検1893=19歳：帝大文科大学英文科入学すると、ラフカディオ=ハーンが驚嘆するほどの語学力を発揮、

日清戦争始・1894=20歳：

日清戦争終・1895=21歳：{帝国文学}の創刊に参画して編集委員となり、同誌上にヨーロッパ各国の文芸思潮の紹介を連載。

八幡製鉄始・1897=23歳：卒業すると、ハーンの後任として東京高等師範学校教授になる。

子規句歌革新1898=24歳：結婚。

Bushidou・・・1899=25歳：評伝「耶蘇」、

田中正造直訴1901=27歳：*訳文集「みをつくし」、評論集「最近海外文学」「文芸論集」「詩聖ダンテ」などを相ついで刊行、

教科書疑獄・1902=28歳：主宰誌{芸苑}と廃刊になっていた森鷗外の主宰誌{めざまし草}とを合併して{芸文}を創刊、出版社とのトラブルで廃刊となり、後身の{万年艸}を創刊。以後、鷗外とは家族ぐるみで交際する。

日露戦争終・1905=31歳：東大講師に就任。*不朽の名訳詩集「海潮音」を刊行、以後の詩歌壇に決定的な影響を与えた。

韓国反日暴動1907=33歳：「文芸講話」。欧米遊学に出発、

アヲキ創刊・1908=34歳：パリの博物館の展示写真に遣欧使節の随員だった父の姿を見出すなどして帰国し、

伊藤博文暗殺1909=35歳：京都帝大教授となる。

韓国併合・・・1910=36歳：慶應義塾大学文学科顧問に就任。自伝的小説「うづまき」。文学博士となり、

明治天皇没・1912=38歳：

21ヶ条要求・1915=41歳：小唄を撰注した「小唄」、

民本主義・・・1916=42歳：「現代の芸術」。京都帝大教授在任のまま、腎臓疾患で、没した。

カール・ブッセ「山のあなた」の'山のあなたの空遠くさひはひ住むと人の言ふ'やポール・ヴェルレーヌの「落葉」の'秋の日のヴィオロンのためいきの身にしみてひたぶるにうら悲し'などは決定的な名訳として、今なお、広く知られている。没後にも訳詩集「牧羊神」が刊行された。